

庭夏日在花园里度过一个夏天的日子

<p>おじさんの庭で夏の日を</p><p></p><p>夏は、長い間待ち望んでいた季節である。暑

さに負けず、快適な時間を過ごすためには、理想的な場所が必要だと

思っていた。しかし、それらとは異なる何かを見つけることができた

。それは、おじさんの庭だった。</p><p>まず、おじさんの庭は自然

との調和に富んでいるということに気付いた。花や木々が生えている

中で、静かな空気が流れると感ずることができるとのことだ。人工的なもの

ではなく、この自然の中での生活に対する尊重と愛情が感じられるよ

うである。我々は都市の喧騒から逃れてきたような感ずを持っており

、そのために心身ともにリラックスした状態になる。</p><p><img s

rc="/static-img/Ai5G0YZfOLGeb_DxFI1YDArlyjkiLoKWwSd2TCS

2nf5Y6u1NqJp9Lwr-DWPOnCvgZfXJFWzvaGhl1WDX30CiA.jpg">

</p><p>次いで、おじさんの庭には多様な植物があり、それぞれが特

別な美しさを持っていることに驚かされた。この一園にはさまざまな

種類の花や樹木があり、新しい物を見つける機会も多い。これにより

、私たちにとって新鮮味を加えることになったし、何より学び手とし

てこの世界を見る機会にも恵まれていた。</p><p>また、おじさんは

その庭仕事について非常に細部までこだわっていることを知った。そ

の愛着ぶりによって、彼の庭はさらに魅力的に見えるようになり、私

たちはその作品の一環のように感ずるようになった。他人の目線を受

け入れることで自分自身に対しても新しい視点を持てるようにしてく

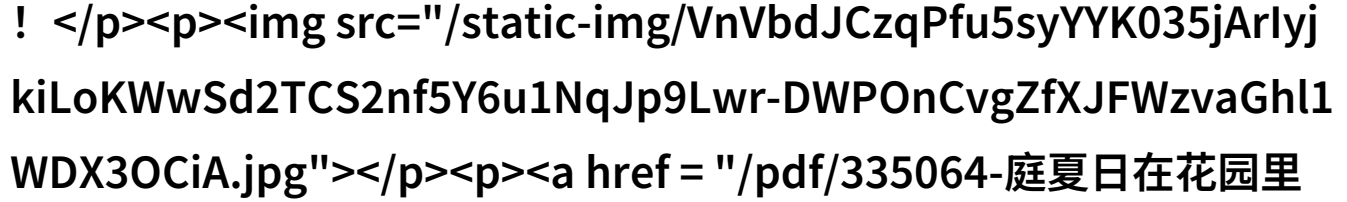
れたのは大きかった。</p><p></p><p>さらに、おじさん自

身も常に笑顔で迎えてくれている。また、彼の話術も楽しくて、何度

でも聞き返すほどであった。お兄ちゃんのような存在でありながら、

私たちの心地よい時間を作り出している彼のおかげで、この夏をお助けにしてくれるという実感があった。

最後にお父さんが持っている写真帳を見せてもらうと、彼らの昔日の記憶や思い出があることも分かった。その写真帳の中には私たち家族での旅行や子供時代のお父さん母さんへの写真などが並んでいて、それだけで何千回繰り返される笑顔を見ることができた。そして、その時私は「おじさんは天堂」と思わず叫んだ。彼のお家にあるこのような環境とお兄ちゃんのような存在だけでは不足しており、私たちにとってかけ離れた場所のように感じられないのに、この大切さを理解することはできないではないかもしれないと思うほどであった。この夏をお父さんありがとう！



[下载本文pdf文件](/pdf/335064-庭夏日在花园里度过一个夏天的日子.pdf)